

2021年度第1四半期決算概要

2021年度第1四半期決算の概要（単体）

- ・経常収益は、役務取引等収益および有価証券利息配当金の増加などにより、前年同期比5億円増加し135億円となりました。
- ・業務の根幹をなすコアの利益である「コア業務純益」は、資金利益および役務取引等利益の増加に加え、コスト構造改革や店舗戦略に基づく人員配置の適正化等による経費圧縮などから、前年同期比9億円増加し29億円となりました。

(単位：億円)	2020年度		2021年度	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	前年同期比
経常収益 ①	130	135		+5
コア業務粗利益 ②	103	107		+4
うち資金利益 ③	88	90		+2
うち役務取引等利益 ④	14	17		+2
経費(△) ⑤	82	77		△5
うち人件費(△) ⑥	41	39		△2
うち物件費(△) ⑦	35	32		△3
コア業務純益(②-⑤) ⑧	20	29		+9
コア業務純益(除く投資信託解約損益) ⑨	17	29		+11
有価証券関係損益 ⑩	0	△2		△3
信用コスト(与信関係費用)(△) ⑪	3	4		+0
その他臨時損益 ⑫	3	4		+1
経常利益 ⑬	20	27		+6
当期純利益 ⑭	15	21		+6
顧客向けサービス業務利益(金融庁定義) ⑮	△2	5		+7

(注) 顧客向けサービス業務利益(金融庁定義) = 預貸金利益(貸出金平残×預貸金利回り差)
+ 役務取引等利益 - 営業経費(経費 + 退職給付関連費用)

第1四半期決算のポイント

※()内数値は前年同期比

⑧**コア業務純益 29億円(+9億円)**

③**資金利益 90億円(+2億円)**

有価証券利息配当金が増加し、前年同期比2億増加

④**役務取引等利益 17億円(+2億円)**

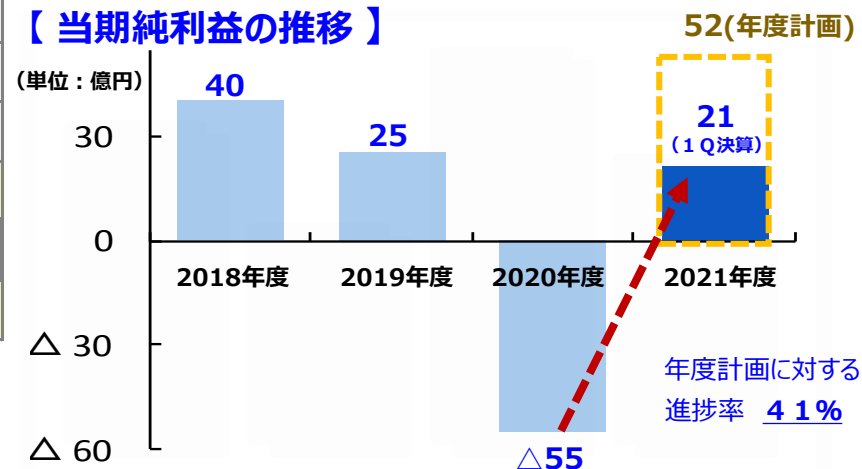
預かり資産収益、為替手数料収支などが増加し前年同期比2億円増加

⑤**経費 77億円(△5億円)**

コスト構造改革および店舗戦略に基づく人員配置適正化の進展等により経費圧縮

⑭**当期純利益 21億円(+6億円)**

【当期純利益の推移】



本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご留意ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

東邦銀行 総合企画部

TEL 024-523-3131

FAX 024-524-1425